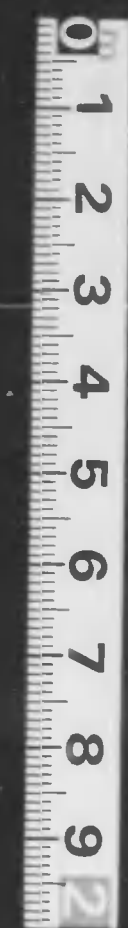


週寫眞 報

編輯部報情閣内
ンセ十・號八十五第・日九廿月三

純忠至誠日記





雪上飛行行



機体には車輪の代りに滑走用
用される。そしてこの機一つも
その形式。その下に滑走用ワ
ラス等に貫き、苦心が重ねられて
あるのだ。(特内)

見物の人々ではない。雪のより
つもつた飛行場はまづ暗かため
なければ滑走が出来ない。滑走と
をはいた人夫が列を作つて雪をな
らす。飛行場の整備はこゝから始
まる。

撮影 菊地豊三郎



躍進の満洲へ！

長期建設には先づ
満洲の認識から！

内地・朝鮮から
往復・回遊汽車賃
単 獨 二 割
團 體 二〇人以上 三 割
學生團體 五割引以上

詳細は
満蒙鮮満案内所へ

東京大ビル・同春館
大阪堺筋・名古屋
門司
新潟古

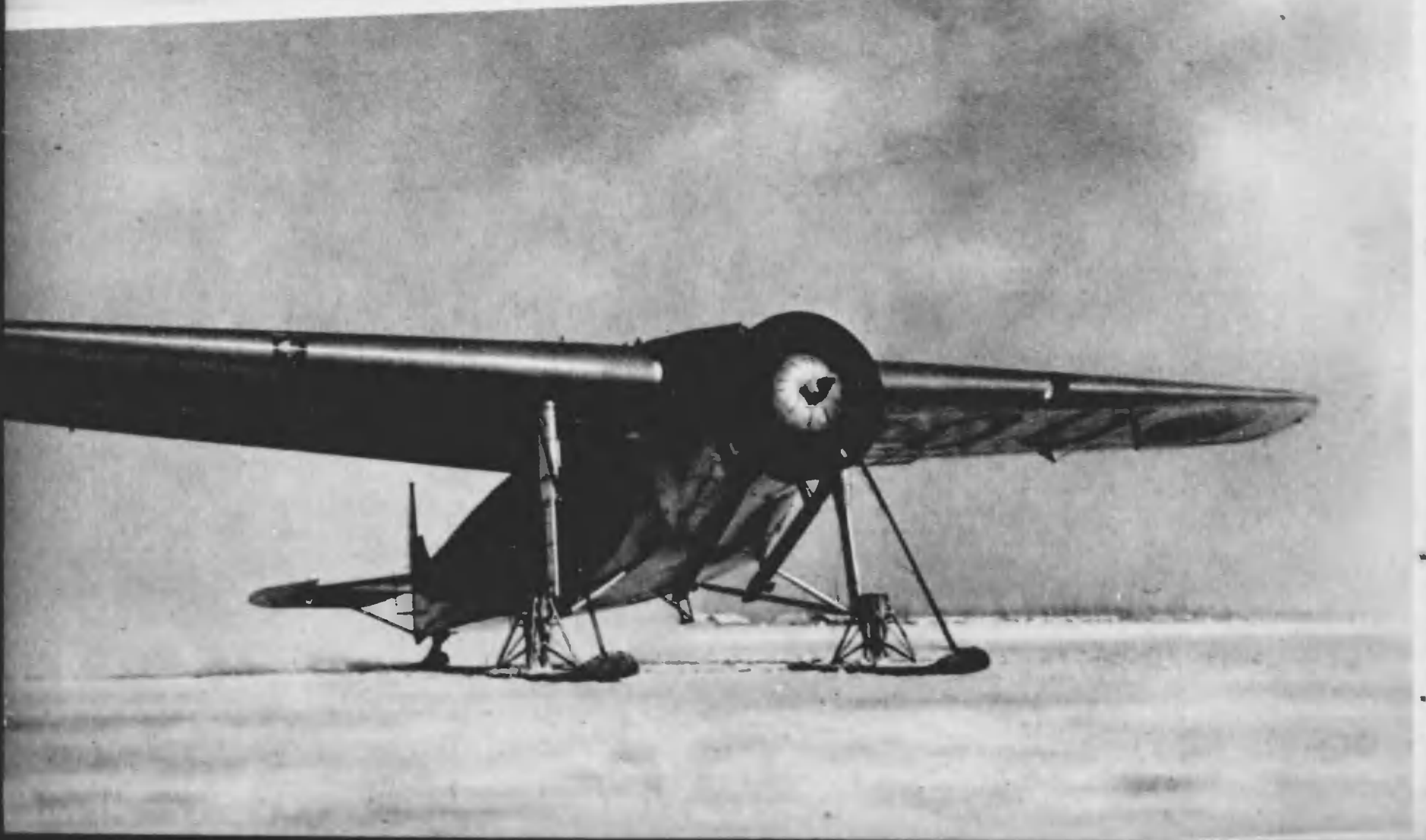
大陸の王者“特急あじき”

満洲 鐵道總局

雪上飛行



飛行機の地上整備は0.5度。無電流が地上と地上を連絡する。白い地平線を切つて飛行機は、エンジン、機を下げ、次の取組、飛行機は見ごとを飛行機に移る。

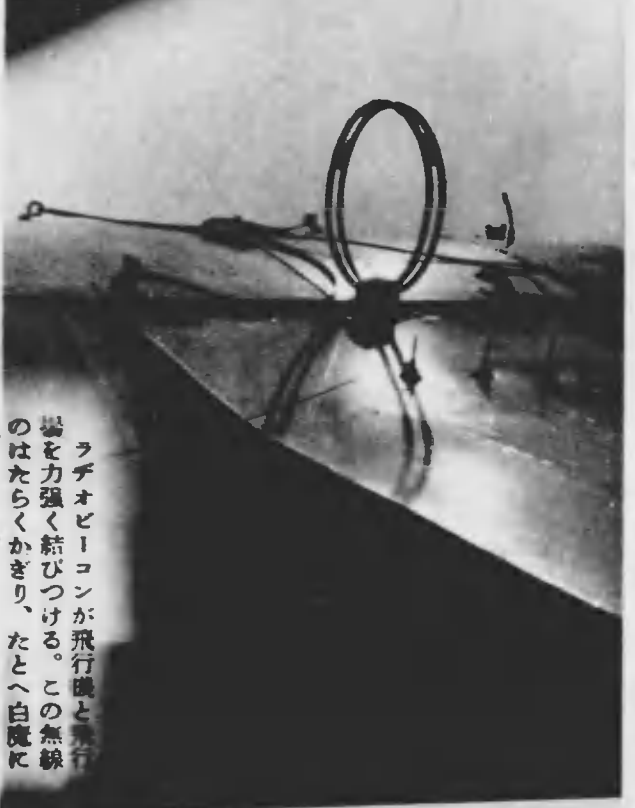


原始的なエンジンと同時、飛行機を動かす上は自動車も出動する。特殊な構造と無限軌道を装備して自動車は白い雪原を縦横に疾駆する。

大空に白魔征服
 北日本に航空確保をすすめる雪上飛行実験
 冬季定期航空は国防上からもあらゆる障害を排除して就航率を向上させなければならない。この見地から北海道の札幌飛行場に雪上飛行の実験が去年十二月十五日から今年三月末まで航空局の指導監督下に大日本航空株式会社の手によつて厳冬と闘ひながら実施につづられた。
 旅客機にはビッチクラフトとスウパードライヴが採用され、離着陸の場合の車輪に代る機凍結防止装置、気象観測、計器による盲目飛行、ラヂオビーコンの無線機、導航装置、冬季運航に必要な立体的研究が徹底的に試みられ、悠々猛吹雪の大空を民間旅客機が征服するのにも遠くはないといふ頼もしい成績に到達。関係者一同は凱歌をあげた。この報道は真はその中間報告である。



ラヂオビーコンが飛行機と飛行場を力強く結びつける。この無線機はたたくかきり、たとへば大空に視界をさへきられても、計器をたよりに盲目飛行は進行出来る。右は翼上のルーファアンテナ、左は機上無線機に活躍のオペレーター。



一面に氷をはりつけ飛行機を動かして飛行を妨げる吹雪の仕事を防ぐために電熱線とか不凍液とかいろいろ考慮が拂はれてゐる。前面硝子を拭く電気ワイパーもこの工夫の一つだ。

純忠至誠日記

陸軍幼年學校學生徒の一日



陸軍幼年學校設立の由來

陸軍幼年學校は明治天皇の尊い思召によつて特
に創設されたのであつて、幼少の頃から軍事上の必
要を顧慮して陸軍の將校となるに必要な徳操と健全
な身體とを養ひ、普通學を教授して陸軍豫科士官學
校生徒となる資格を與へるのが目的である。

教育綱領

- 一、國體ヲ明徹ニシ尊皇愛國ノ心情ヲ養成ス
- 一、軍人精神ヲ涵養シ軍紀ニ習熟シ高潔ナル品性ト
正順ニシテ剛健ナル思想ヲ陶冶ス
- 一、心身ヲ開暢發達セシメ健全ナル身體ト鞏固ナル
意志トヲ養成ス
- 一、陸軍豫科士官學校ニ必要ナル識量技能ヲ附與ス

教育機關

校長の下に教授、訓育の兩部があり、教授部は專
ら學識を養ひ徳操の開發を圖り、訓育部は基礎的軍
事教育を施し特に崇高な軍人精神と健全な身體とを
養成すると共に、武士的家庭としての禮を完成し、
人格・品性の陶冶に努めるのであつて孝の純情に發
して、忠の大義に徹せしめるのが大眼目である。

日課の概要

東天漸く白む頃、起床喇叭と共に床を蹴つて起き
半裸體となつて「たわし」掃除をする。體て週番士官
の日朝點呼が終ると手早く髪を整理し又は乾燥し洗
面を終つて進所へ急ぐ。但當番の生徒は道徳の神
經や進所、自習室、教室等を甲斐なく清掃する
進所は附近に雑草、鳥も飛び交ふ静かな所で、辛
業した先輩の勤勞奉仕によつて出来上つたものであ
る。各個に「宮城、皇太神宮、故郷の順序に進所し
更に、勸語勸諭を奉讀して、聖訓を體し、清々しい
氣持で校庭に進み、軽い運動の後食堂に入る。上下
級生は故で朝禮を交して食事に就く。給仕は下級生
の擔任である。食事が終ると週番士官の服装検査を
受け、端正な服装態度で教室に行く。課目は中學校
と同様のものである。通常午前四時、午後一時開校
行はれるが、生徒は其間の休憩を利用して各種の遊
戯や機械體操などをして氣分の轉換を圖つてゐる。
午後は大部分訓育部の行事で、精神訓話では他日



陸軍幼年學校生徒ハ將來國軍ノ棟樑トナル
ヘキモノナリ故ニ其ノ志操堅固品性高潔學
術優秀ナルヲ要ス
との明治天皇の聖旨に基いて私運陸軍
幼年學校生徒は非常時局下一生懸命の訓練を
つけてゐます。

卓越した武將たるべき精神要素を扶植され、訓育學 科では軍事一般の常識的な學科を習ひ、教練では徒 手、銃銃(小銃・輕機關銃)の基礎的なものを充分 教育されるが、將來三軍を指揮統帥すべき素地とな る事は徹底的に教育されるのである。劍術、柔道、體 操等の武技では徒らに勝負を争ひ、技術の末にはし るのでなく、剛健な氣力と體力の養成を主眼とし、 捨身攻撃と堅忍持久の精神とを鼓舞強勵して、實戰 場裡に遺憾なきを期して居る。

人浴して夕食が済めば、廣い校庭に立つて號令調
聲を始める。大陸に於て大軍を指揮する日に心に描
きつゝ。

生徒集會所は上下級生が團聚して讀書し、飲食し
て一日の疲れを忘れる所で、こゝには記念室が設け
てある。記念室には、今上陛下が攝政の御時、御召
し遊ばされた軍帽を始め、嘗て御在學遊ばした各宮
殿下の御影や陳設先賢諸勇士の壯烈極まる遺品な
どが陳列してあつて、生徒の修業上缺くべからざる
神聖な場所として居る。

夜の自習は正味約二時間半であるから火の出るや
うな眞剣さを以て練習に復習に専念する。自習の
終りに電燈を薄暗くし眼を閉ちて一日を反省し勸諭
の五ヶ條に對して次の五つの御誓ひをするのである

- 一、純忠至誠生ヲ捨テ義ヲ取ル
- 一、淡白ニシテ喜シテ命令ニ服從ス
- 一、氣節ニ生キ實行ヲ向フ

一、責任ヲ重シ功利ニ超越ス
一、實實剛健ニシテ廉恥ヲ知ル

年中行事

四月一日は入校式。輝く希望に胸躍させながら校
門に入つて来る新入生徒は、儼然と輝く菊花御紋章
を上頭に仰いで、今更ながら身の光榮に感激するの
である。

毎週水曜日には平日教練や校外散歩がある。校外
散歩は、宮城の奉拜を始め明治神宮や多摩陵、靖國
神社などの奉拜等、凡て精神教育の立場から選ばれ
る。

誕生祝は毎月校長先生が學校といふ武士的家庭の
親となつて、その月に生れた生徒のためにその成長
を祝ふもので、これらの生徒が親の恩を感謝してい
よ／＼奉行に心がけるやうにと、赤飯が炊かれ、特
別の御馳走が用意される。

運動會は春秋二季に催され、六組の運動班が本校
獨特の競技によつて錦を削り、心身を鍛練する。晚
春から初夏の頃學年毎に箱根、東北、京阪地方へと
夫々修學旅行を行ひ心身を鍛へ、知見を博め、七月
下旬には待望の游泳演習が房總半島で行はれる。

金風飄々たる仲秋の候富士山麓に野營して、莊嚴
限りない富士の靈峰に接して、大いに浩然の氣を養
ふ。大寒の月光を踏んで道場へ突進し、火花を散ら
す寒稽古に生徒の意氣は自然と化し、霜凍る二月の
始め、神奈川縣下に行はれる鬼狩では野鬼を血祭に
して健兒の意氣は山野を響かせる感がある。

三年修業の功成つて、母校を巣立つ卒業式は、
畏くも御名代の宮の御差遣の下盛大に舉行され優等
生には御賜の時計を賜るのである。

消防演習
火災の豫防には平常全生徒協力し
てあつておますが一學期に一度火及び
空襲の際を豫想して一學期に一度非
常召集が行はれ、部署を定めて消火
演習を致します。

本校一日の日課は「繁忙の裡秩序
あり、而も總てが精神の修練なり」
の一言に盡きます。

午前六時起床
毎朝喇叭の音と共に床を蹴つて
起きるや一齊に「たわし」掃除を行
ひます。強い皮膚を作るために勿論
寒中も止めません。

洗面器具も整然と
點呼がすむと洗面所に急ぎますが
洗面器具もかちしてきちんと整へて
おきます。どんな些細なものにも秩
序を保つ習慣は幼年學校生活の第一
課であります。



勸諭物語の拜誦

口を漱ぐと、進所に行き、宮城
伊勢神宮を奉拜、併せて祖先父母を
禮拜致しますが、慈ると勸諭物語を
聲高らかに拜誦し、忠孝の誠を誓ひ
ます。

撮影 内閣情報部

☆純忠至誠日記☆

日光清彦
 當天の日は必ず其の日光清彦を行ひます。清彦と清彦は疾弱を補助する一番の要訣であります。

出征中の父へ

第二学年第三回書状
 仲 美 伸

拜復 去る十日付の御手紙有難く拜見致しました。早や後期も終り、待つは休暇ばかりとなりました。仲は毎日元気に學術科に奮闘してあります。御安心下さい。

御手紙に依れば父上は毎朝ラヂオ体操や竹刀の素振をしてをられるとか、満洲國境の一角にラヂオ体操の競争場を、素振の操場冷気をつんざく間は決して、ソ軍も近寄る事は出来ないうでせう。出勤される時の操場とした父上の御業馬車が拜見し度く思はれます。

ロシアの監視兵を見ながらの毎日の種痘はさぞかし身の入る演習であります。

東京は御地の零下十七八度に比れば非常に暖か、殊に三月に入つてから、めつきりと暖くなりました。体操の操場も冷くなくなりました。教練の銃を撃つ手も暖くなりました。父上が主事をしてをられた、三十九期の卒業記念の梅が今を盛りと咲誇り、朝の進歩の際に芳香を漂はせてあります。

十日の陸軍記念日には早朝非常呼集で靖國神社へ、外出後は戦友と明治神宮に参拝して、父上の御武運長久を祈りました。東京は戦時、非常時で、自衛緊張してあります。此の戦が何年続かうと大丈夫です。

父上が植えられた家の松や、梅は共に根づき、すくすくとして延びてゐるとの事です。どうか御體を御大切に、此の松や梅と共に永く永く君國の爲に盡されん事を祈ります。 頓首

記念章

今上陛下の聖帽を始めとし、本校出身十四方の皇王公族殿下の御尊影を奉揚、又本校出身戦時將校の遺影、及び遺品を四圍に陳列してあります。皇冠の殊途に感泣し、先聖の偉勳を思ふ修養道場であります。

休憩時間

休憩時間無為に過ぎず。教室をとり出ると、たまに相撲が始まり、一時間でも無為に過ぎないといふことを私達は厳しく守つてあります。

調理場

私達の猛烈な食欲を満してくれる調理場もやはり幼年學校精神に基づいて清潔に整備されてあります。

武道

武士道精神を體得し、剛健なる心身を鍛練するために剣道及び柔道は特に重要視され、私達も亦真剣に稽古をつけてあります。

體操

機敏な行動、持久の精神、行軍投擲、懸垂、跳躍能力等、近代戦の要求に應じ、將來將校たるの軍實に堪へうる體力を養ふといふのが體操の目的であります。





☆ 記 日 誠 至 忠 純 ☆

戦術教練
何といつても戦術教練は私達を最も興奮させます。いま大陸にある私達の父や兄、先輩の奮闘振りを偲び、ついで校外山ヶ原の軍機を飛び出し突撃を繰り返してをります。



自修室
学科の修習、復習は自修室で行ひます。自修の時間も規律正しく日夕點呼の時間があるまで一心不乱に勉強致します。

午後九時三十分就寝
起きるのも放談に、寝るのも放談に、時間があると一齊にベッドにもぐり込みます。洋服をぬきながらふと靴地の父、故郷の母の顔が臉に見えることもあります。



修水河を渡す



武漢作戦に引續き中支軍江甯の第一線は洞窟と對峙してゐた。敵は羅漢英の率いる十數ヶ師で、武寧以東の地區に警備の陣地を構成し、われに抗戦を策しつゝあつた。わが軍は二ヶ月に亘る連日の雷雨の中に、今戦場を變へてゐたが、戦機今や熟し三月二十日午後七時修水渡河作戦の幕は切つて捲かれた。滿潮増水の修水奇襲敵前渡河もわが兵の勇躍なる準備と果敢なる決行によつて見事に成功。渡河部隊は兩岸の高地に據る敵を逐次壓迫して南方に退出中である。戦場は連日の雷雨に泥濘を浚するばかり、第一線將兵の勞苦は言語に絶する。

撮影 同盟通信社映畫部



1 打ちつゞく霖雨に輸送路は文字通り膝を浚す泥の路である。作戦準備進行のために兵站部隊は人も馬も泥入形のやうになつて苦悶する。
2 壯烈なる修水河敵前渡河開始の命令は下つた。鐵舟はしつぱやかに枯漕をわけて修水河上に降ろされる。投擲の重野砲その他數百の各種砲は一齊に火を噴き、股々たる砲聲は耳を聳するばかりである。
3 時を移さず勇士は一齊に鐵舟にとび乗る。頂く鐵兜、握る銃把に決死の覺悟は悲壯、きつと脱む對岸からは敵の機銃が俄かに吼え立てる。
4 彈雨の中を鐵舟は河上をすべつて對岸に近づく。善後附近から永修附近まで砲撃六十キロにわたつて修水河の北岸から南岸へ、空前の大渡河戦は展開されたのである。
5 わが軍の奇襲渡河に驚いた敵は連二無二抵抗を試みたが、遂に敵はじと見て一齊に退却を開始。こゝに壯烈な追撃戦が展開された。



僕等の意氣

私達の覺悟

いたけな小児軍も強くけなけに
銃を撃つてゐる美しい話三つ



2 京都市下京區の崇仁小學校では校長先生の指導で、子供のうちから職業を愛し、學校を出た日からすぐ役に立つ子供を作る方法として校内に印刷機を二台揃えつけ、算紙類や区内への通知物まで職員と児童の手で印刷してゐるが、文選、練習、組版、印刷と一人でやる生徒がいくらかもある。この小さな職工さん達は放課後日の暮れるのも忘れて一生懸命印刷術の勉強をつけてゐる。

1 京都市下京區第一陶化小學校の五年生以上の生徒が組織してゐる陶化少年軍は規律も正しく校内校外で中々立派な働きをしてゐるが、中にもこの幹部である高等科二年の男女生徒は、學校の附近が交通難で學校の正門が危険なので、この二年來、交通危険な箇所を六名づつの交通整理班をおき、下級生たちの安全のために天晴れ豆連の役をつとめてゐる。

3 大阪市精華尋常小學校は「まづ健康」の標語を第一に一年生から六年生まで夫々年齢に應じた兩性體操を行つて健全な身體と精神の鍛錬につとめてゐるが、六年の女生徒は同校坂口調導の創案になる杖術訓練をそつてゐる。日の丸の鉢巻も男ましく屋上體操場にあがる可憐な掛聲は商都の空にたのもしくひろがる。

雪の野に出るダイダー

富山縣光町青年團



空を護れ！ 我等の空は我等で護れ！ 日本海を前に控へた富山縣光町の私達青年團はこの差し迫つた國民的義務を實踐に移すべく、一月中旬から毎週一回高岡中學の吉田二等滑空士を教官にダイダー訓練を始めた。野も山も見渡す限りの白銀一色である。雪中のダイダー訓練—これは悉く全隊でも珍らしい試みであらう。使用機は伊藤式A2型一九八號機、練習開始から早くも三ヶ月をへた現在では四米直線滑空の成績にまで達した。が、私達のこの企てにかけられてゐる各方面の期待にそむかぬやう、週に一度の訓練日を待ちかねて猛訓練をつけてゐる。

讀者の
カメラ

変化する地図 チェッコ・メーメルドイツに合併

ドイツは三月十五日、疾風の如くチェッコ・スロヴァキアをその手に収めついで廿二日リスニアのメーメル地域は正式にリスニア政府からドイツに返還され、かくて「大ゲルマン帝國」の中歐における地位はいよゝ不動のものとなった。

昨年九月のミュンヘン四國會議議によつてチェッコ問題の危機は一塵去つたやうに見えたが、問題は決定的解決をみるにいたらず、チェッコは依然歐洲の火藥庫として存続してゐたが、三月十日、スロヴァキアの獨立政策をすゝめつゝあつたチソ内閣をチェッコ中央政府が罷免したことに端を発し、倏然事態は重大化し、チェッコ國民自身もさへ茫然たるうちに、スロヴァキア及びリスニアの獨立宣言となり、遂に神速ヒトラー總統の下に赤ヘミア及びモラヴィアはドイツの保護領に編入され、こゝにチェッコ・スロヴァキア共和國は獨立以來廿二年の歴史を閉ぢメーメル地域の復讐とともに、歐洲の地圖は僅々一週間、無血の裡にまたまた塗りかへられた。

【参考】 第三十七號「チェッコの歴史」



ヒトラー ドイツ總統



チソ スロヴァキア首相



リッペントロップ ドイツ外相



ベック ポーランド外相



チャアキー ハンガリー外相



チェッコとの國境に集結待機するハンガリー歩兵部隊



テッシェン地方警備のポーランド歩哨



ウィーン進軍のナチス・ドイツ國軍



